

としょかんゆうびん 幼児向け 令和3年夏

相生市立図書館 0791-23-5151

7・8・9月の行事とカレンダー

- ・体調の悪い人は行事に参加できません。
- ・行事に参加するときは、手指の消毒とマスクの着用をお願いします。

えいが会

7/17 (土) 10:30~11:30
「ミッキーマウス」
「かんすけさんとふしぎな自転車」
「おおかみと七ひきのこやぎ」

人形劇

7/18 (日) 11:00~11:30
「赤ずきんちゃん」
9/19 (日) 11:00~11:30
「おとなしいめんどり」

トーンチャイム

8/7 (土) 11:00~11:30
サマー♪コンサート…アンダーザシーほか

シネマサロン

7/24 (土) 14:00~
「フランダースの犬」(90分)
8/14 (土) 14:00~
「クボ 二本の弦の秘密」(103分)
9/11 (土) 14:00~
「リボンの騎士」(63分)

夏休み中は、ほかにも
特別イベントがあります！
くわしくは図書館まで



おはなし会

7/25 (日) 11:00~11:30
えほん『あおくとときいろちゃん』、おはなし「ねずみのすもう」ほか
8/22 (日) 11:00~11:30
えほん『おやすみなさいおつきさま』、おはなし「せかいいちのおんどり」ほか
9/26 (日) 11:00~11:30
えほん『おさるとぼうしうり』、おはなし「とりつこうかひっつこうか」ほか

7月

日	月	火	水	木	金	土
*	*	*	*	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

8月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	*	*	*	*

9月

日	月	火	水	木	金	土
*	*	*	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	*	*

…お休み 開館時間…午前9時~午後7時

夏におすすめの本

『どしゃぶり』 おーなり由子・文 はたこうしろう・絵//講談社//P-オ

あつい夏の日、青い空に突然黒い雲があらわれ、雨が降り出してきました。大きな雨粒、傘を打つ雨音、空と地面からただよってくる雨のにおい。そして、あっという間に雨は上がり、ふたたび青空が広がります。

夏の雨と遊ぶ男の子の姿が、表現豊かな音と躍動感のある絵で描かれています。

『ケロリンピック』 大原悦子・文 古川裕子・絵//福音館書店//P-オ

夏のはじめ、カエル村では4年に一度のカエルのオリンピック、ケロリンピックが開幕しました。かんかん照りのなか、陸上競技の選手たちはがんばりますが…。



『はだしになっちゃえ』 小長谷清実・文 サイトウマサミツ・絵//福音館書店//P-コ

一人の男の子が海に向かって走っていきます。はいていたビーチサンダルを脱ぎ、あつい砂浜をかけぬけ、ひんやりとした波打ち際へ、そして波に乗って広い海の中へ。

躍動感あふれる絵からは、太陽の熱さや海水の冷たさを感じ、男の子と一緒に海を楽しむことができます。



『なつのゆきだるま』

ジーン・ジオン・文 マーガレット・ブロイ・グレアム・絵 ふしみみさを・訳//岩波書店//P-ジ

ある年最後の雪の日、ヘンリーとお兄さんのピートは雪だるまをつくりました。その夜、ヘンリーは雪だるまが月の光で溶けてしまうのではないかと心配で、なかなか眠れません。そしてとうとうベッドから抜け出し…。次の朝、ピートが庭を見てみると、雪だるまは消えています。雪だるまはどこへ行ってしまったのでしょうか。

『かとりせんこう』 田島征三・作//福音館書店//P-タ

蚊取り線香といえば、夏の風物詩の一つ。この本に出てくる蚊取り線香は効果抜群です。けむりが出ると、いろいろなものがぽとん、ぽとんと落ちていきます。

実際にはありえないおはなしですが、くりかえしが楽しい一冊です。



『カメレオンのかきごおりや』 谷口智則・作//アリス館//P-タ

カメレオンのかき氷屋さんがありました。彼は世界中を旅しながらシロップを集めて、お店を開いています。ある日、何やら落ち込んでいるサルくんがお店にやってきました。

『おいていかないで』 筒井頼子・作 林明子・絵//福音館書店//P-ツ

あやこが人形と遊んでいると、お兄ちゃんが部屋から静かに出て行こうとしました。一人で外に遊びに行くつもりようです。あやこはお兄ちゃんの動きに気づき、自分もいっしょに連れて行ってほしいと頼みますが…。



『なつのいちにち』 はたこうしろう・作//偕成社//P-ハ

暑い夏の日、男の子はクワガタムシを捕まえに一人で谷まで出かけます。谷に着きますが、クワガタは木の高いところにとまっていて、簡単には手が届きません。何度も何度も挑戦しますが、はたして捕まえられるでしょうか。

『やたいのおやつ』 ふじもとのりこ・作絵//鈴木出版//P-フ

夏といえば夏祭り。夏祭りといえばたくさんの屋台。この本にはたいやき、りんごあめ、かきごおり、わたあめ、お好み焼きが出てきます。食べもの絵本はたくさんありますが、この本は夏にぴったりな一冊です。



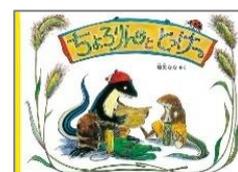
『ターちゃんと呼びこ』 ドン・フリーマン・作 さいおんじさちこ・訳//ほるぷ出版//P-フ

ターちゃんは、お父さんとお母さんと海へキャンプにやってきました。ターちゃんは、新しい長ぐつをはいて、魚釣りに行きます。するとそこには、去年もここで出会った、年をとったペリカンがいました。ペリカンはターちゃんに魚をとるところを見せてくれますが…。



『ちょろりんととっけー』 降矢なな・作//福音館書店//P-フ

ちょろりんととっけーはとかげの兄弟です。ある日、ちょろりんにおじさんから、夏休みに遊びに来ないかという手紙が届きました。とっけーはまだ小さいので、お留守番です。夏休みになり、ちょろりんは早起きしてひとりで出発しますが…。



こわい?かわいい?おばけの本

『おばけのひっこし』 さがらあつこ・文 沼野正子・絵//福音館書店//P-サ

むかし、京のみやこのはずれに、ある家族が住んでいました。子どもがたくさんいて家がせまくなったので、父親は新しい家を探しに行くことにしました。京のまちなかにいい家が見つかりますが、その家にはおばけが住んでいるといううわさがありました。男が一晩泊まってみると…。



『こんたのおつかい』 田中友佳子・作絵//徳間書店//P-タ

ある日、こぎつねのこんたはお母さんにおつかいを頼まれました。あぶらあげを買うためお豆腐屋さんに向かっていると、分かれ道にさしかかります。一方はいつも通っている「はなのみち」、もう一方はお母さんが通ってはいけないといつも言っている「もりのみち」です。こんたが選んだのは…。シリーズがあります。

『おばけのジョージ』 ロバート・ブライト・作絵 光吉夏弥・訳//福音館書店//P-ブ

ジョージはホイッティカーさんの家の屋根裏に住む小さなおばけです。ジョージは毎晩同じ時間に、階段をみしりといわせ、ドアをぎーと鳴らしました。それがホイッティカーさんと奥さんの寝る合図になっていました。ところがある日、ホイッティカーさんが階段とドアを修理してしまい…。

ほかにもあるよ！おすすめの本

『みんなでせんたく』 フレデリック・ステール・作 たなかみえ・訳//福音館書店//P-ス
よく晴れた日曜日、エレナが川で遊んでいると、ねずみ、かえる、
ビーバー、あらいぐまの親子がやってきて、みんなで歌を歌いなが
ら洗濯をはじめました。エレナは自分の服がどろで汚れていること
に気づき、いっしょに洗濯をすることにします。



『スーザンのかくれんぼ』

ルイス・スロボドキン・作 やまぬしとしこ・訳//偕成社//P-ス
スーザンは、兄さんたちが飼っている大嫌いなクモから逃げるため、隠れるところを探して
いました。なかなか見つからず、スーザンはお母さんにたずねます。大きな樫の木の影に隠
れることにしたスーザンでしたが、そこは隣のおばさんからは丸見えの場所でした。スーザ
ンはおばさんに聞いて、物置の影に移動しますが…。

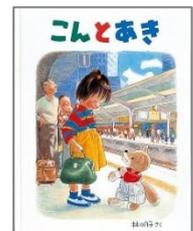
『ガンピーさんのふなあそび』

ジョン・バーニンガム・作 みつよしなつや・訳//ほるぷ出版//P-バ
ある日、ガンピーさんは自分のふねで出かけることにしました。ふねをこ
いでいると、子どもたちやうさぎ、ねこ、いぬ、ぶた、ひつじ、にわとり、
こうし、やぎが次々と「ふねにのせて」と声をかけてきます。
おとなしくしているならと、ガンピーさんはみんなをのせてあげますが…。



『こんとあき』 林明子・作//福音館書店//P-ハ

こんは、おばあちゃんに赤ちゃんのお守を頼まれ、さきゅうまちからやって
きたきつねのぬいぐるみです。赤ちゃんの名前は、あきといいます。こんと
あきはいつもいっしょに遊びました。あきはだんだんと大きくなり、こんは
だんだんと古くなって、とうとう腕がほころびてしまいました。おばあちゃん
に直してもらうため、こんとあきはふたりきりで、さきゅうまちへ向かい
ます。



『ひとりでおとまりしたよるに』

フィリパ・ピアス・文 ヘレン・クレイグ・絵 さくまゆみこ・訳//徳間書店//P-ピ
ある日、エイミーはおばあちゃんの家でひとりで泊まりに行きたいと言いました。ひとり
でお泊りするのはこれがはじめてのことです。エイミーは三つの宝物をいっしょに持って
行くことにします。おばあちゃんの家に着き、やがて寝る時間になりますが、家にいるお母
さんたちのことが気になり、目が覚めてしまいます。家に帰りたくなってしまったエイミー
は、宝物を持って来ていたことを思い出し…。

『かいちゅうでんとう』 みやこしあきこ・作//福音館書店//P-ミ

夜、子どもたちが懐中電灯を使って部屋の中で遊んでいます。壁に影を映し
出したり、光を揺らして人形を動かしてみたり…。最後の場面で、二人は外
に光を向けて、星を照らすことはできるだろうかと話しています。
もし気になったら、安全に気をつけながら試してみてください。

